

ゲストティーチャーを招いて“日本と世界の伝統と文化について学ぶ”

「パラリンピック競技ボッチャの体験」

ゲストティーチャー 渡辺 美佐子氏 (一社：日本ユニバーサルボッチャ連盟)

今年にはリオデジャネイロ五輪・パラリンピックの開催年です。そこで、パラリンピックの種目であるボッチャというスポーツについて知り、体験します。今回は体育館でなく教室で実施のため、縮小コートでレクリエーション的に実施しました。



① まずロンドンパラリンピックの映像を見ます。



② さてペットボトルを倒せるでしょうか。力加減が難しいです。



③ 赤組対青組で点取りゲームです。



④ さあ本番！白ボールに向けて自分のボールを転がします。チャンスは6球。色々な作戦を立てて戦うところはカーリングに似ています。



ボッチャのボールは白1個、赤と青はそれぞれ6個でセットです。新聞紙2枚を丸めて色付きテープで止めた手作りボールでも十分楽しめます。

⑤ コンパスのような道具でボール同士の距離を測ります。白ボールに近い方が勝ち。

ボッチャでパラリンピック選手になるには車椅子使用の重度障害であることが条件ですが、誰でも楽しんで、運動能力が高ければ勝つとは限らないユニバーサルなスポーツだとわかりました。生徒チーム対先生チームでは、先生も本気で対戦して盛り上がりました。



渡辺先生には、障害者スポーツが選手の自立に繋がると教わりました。(VC 小林・堀内)